

【編集発行】

千葉県赤十字血液センター
〒274-0053 船橋市豊富町690
Tel 047-457-0711

千葉県献血推進強調月間 スタート!!

春の献血キャンペーンにご協力をお願いします。

新しい生命に満ちあふれる「春」

この春から、新生活を迎える方も多いのではないのでしょうか？

新しい出来事に期待が膨らむこの季節も、急激な気温の変化や花粉症の影響などで、献血にご協力いただける方が減少してしまいます。

千葉県では、毎年3月を「千葉県献血推進強調月間」と定め、輸血用血液の確保に努めています。

この新しい季節に、ぜひ献血にご協力をお願いします。

献血を呼び掛ける
千葉ロッテマリーンズ
「マーくんファミリー」

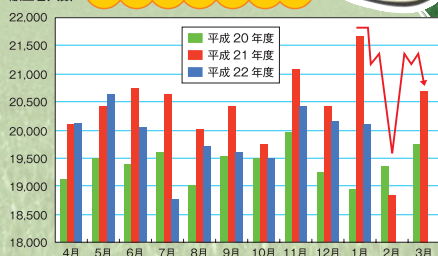
「はたちの献血」
キャンペーンイベントから



春先は
血液が不足
します!



献血者人数 月別献血者推移



CONTENTS No.65

2 お便りとメッセージのコーナー／漢字クロスワードパズル

3 ◆「はたちの献血キャンペーン」を実施しました。」



◆レポート65
「献血学習会が行われました。」

4 ◆献血ニュース
○平成23年度千葉県の献血目標が決まりました。
○検査サービス通知の検査項目が一部変更になりました。
○採血(献血)基準等が一部変更になります。

5 ◆千葉県最大規模の献血が行われました。



◆千葉県学生献血推進協議会活動報告。

6 ◆献血協力企業・団体紹介
◆けんけつ日誌
◆県内献血会場のご案内(献血ルーム及び献血スケジュール)
○献血にご協力いただける事業所・団体・グループを募集しています。

患者さんにとって
より安全な、400mL献血に
ご協力ください。



献血キャラクター けんけつちゃん



お便りとメッセージのコーナー



「健康のありがたみ」

先日、イオン成田店で12年振りの献血をしようと思いました。しかし、貧血気味でお役にたてませんでした。只今、身内に闘病生活を送る者が居ます。健康のありがたみがわかる分、再び、自分が少しでも役立てよう健康管理をしたいと思います。

佐倉市 E.Tさん

「体がポカポカして来たぞ」

50才を過ぎて始めた献血に主人が初めて連いて来て、おそろおそろ一緒にしました。終わると「体がポカポカした来たぞ。」と笑顔。「この次もやるぞ」と言っていました。「又、3ヶ月後にね」と私。

旭市 T.はさん

「250回達成に向けて、元氣よく飛び跳ねよう!!」

私は20代から献血を始め、今年67才になります。同僚の手術がキツカケでしたが、前回で210回、これを多いと感じる方がいるかも?でも年間にすると4.5回(1回/3ヶ月)程度にしかありません。ますます高齢化社会の進み中、千葉県は血液の需給バランスが崩れていると聞いております。献血可能な年齢は69才、70才の誕生日前日までだそうです。私が一個人として出来るボランティアも後3年数ヶ月、健康管理に努め、目標250回まで残り40回にチャレンジします。スタッフのみなさん!今年もよろしくお願いします。

大網白里町 M.Gさん

「小さいころの夢」

16才の誕生日の次の日に初めて献血にいきまして♥小さいころの夢でした。これからも学校帰りに献血します★

千葉市 K.Tさん

お便りとメッセージをいつもありがとうございます。ごさいます。



DONOR 2011.3 No.65

献血開始が「もう1、2年早ければ…」

現在、献血回数436回です。目標を500回においていたのですが、70才の誕生日で最後となります。どうあがいても数回位足りません。とても残念でなりません。少子高齢化の折、健全な人々への対応を見直してはどうでしょうか?
(悔しがる67才)

市原市 S.Yさん

「勇気を出して…」

初めて読みました。献血は注射が怖くてまだしたことが無いのですが、勇気を出して協力してみようと思います。

八千代市 M.Fさん

「人ごとではないと思い…」

福岡から千葉に引っ越して1年になります。昨年家内の免許の切り替えに、運転免許センターと一緒にいくと献血のコーナーがあったので、第一回の献血をして、今度で2回目です。福岡の可愛い孫が先日入院しましたので、人ごとではないと思い献血しました。今後も年3回の献血はしたいと思います。

千葉市 I.Oさん

お便りとメッセージをありがとうございます。

- このコーナーでは、献血にまつわる想い出、感想、ご意見や実際に輸血を受けられた方々、そのご家族、輸血医療に携わる医療関係者の方々からのお便りをお待ちしております。
- お便りは、次号以降のドナー通信紙面や当センターのホームページなどで、市町村名とイニシャルを使い紹介させていただきます。
- 「お便りコーナー」でご紹介させていただいた方には、記念品を進呈いたします。
- あて先 ▶〒274-0053 船橋市豊富町690 千葉県赤十字血液センター内 ドナー通信係

漢字クロスワードパズル

答え

1		2		3	4	
		5		ウ		
6	7	ン		8		9
10			11			
	12		ガ		13	
14			15	16	シ	
17	ビ			18		

前号の答えは、「裁判所」でした。たくさんのご応募ありがとうございました。

このクロスワードパズルは、どこか3カ所だけ漢字が入ります。その場所は文字数やタテ・ヨコの関係から推理して下さい。その他のマスはすべてカタカナです。最後にその漢字三文字を並べて、その答えのこたばを作して下さい。

□ヨコのカタ

- ①北海道最北端なら宗谷、九州最南端なら佐多、ヒット曲なら襟裳。
- ③気温と湿度から算出する——指数。梅雨時は高くなります。
- ⑤ライト兄弟が発明したものが元祖です。
- ⑥寄付金を集めること。
- ⑧修学——。新婚——。海外——。
- ⑩——に交われば赤くなる。
- ⑪ナインとイレブンの間です。
- ⑫1853年に、ペリーが来航して通商を求めた地です。
- ⑬青は——より出でて——より青し。
- ⑭ペンキやワニスなど。暗い所で、光って見える夜光——。
- ⑮濃い霧で——がきかず、危険な山道。
- ⑰かかとのごと。——を返すとは、あと戻りをする事です。
- ⑱江戸の——を長崎で討つ。

□タテのカタ

- ①オリオン座の中央に並んでいるトリオです。
- ②ロイヤルボックスとは、劇場や競技場に設けられた——席。
- ③夏の季語で、やさしい音が涼しさをよびます。
- ④中国で行われた官吏登用試験。
- ⑦一般的には、25日が多いようです。懐が暖かくなりますように。
- ⑨鳥の——とは、入浴時間が短いことです。
- ⑪メールや電話ですますことが多い現代ですが、ときにはしたためてみましょうか。
- ⑬——は——の風が吹く、という明るい考え方。
- ⑭佐渡の特別天然記念物。
- ⑯インフレは——膨脹。デフレは——収縮と訳します。

ヒント ETC でお得?

「答え」と「住所・氏名」、「ドナー通信への感想」などをハガキにご記入の上、係あてに郵送して下さい。抽選で20名様に素敵な記念品をプレゼントいたします。当選者の発表は、記念品の発送をもってかえさせていただきます。

- 締切 ▶ 平成 23 年 5 月 31 日(火) 当日消印有効
- 応募先 ▶ 〒274-0053 船橋市豊富町690 千葉県赤十字血液センター内 漢字クロスワードパズル係宛

「はたちの献血」

キャンペーンイベントが
実施されました。

献血について
語る両投手



はたちの献血キャンペーン
実施期間 平成23年1月1日～

平成23年1月22日(土)そごう千葉店において「はたちの献血」キャンペーンイベントが開催されました。

このキャンペーンは新たに成人式を迎える「はたち」の若者を中心として広く国民の皆様に対して献血思想の普及を図り、特に400mL献血、成分献血への理解と協力ををお願いすることにより、冬期における安定的な血液の確保を図ることを目的として、厚生労働省・都道府県・日本赤十字社が実施しており、千葉県ではこのキャンペーンを周知するためのイベントが、千葉ロッテマリーンズの協力のもと毎年行われています。

当日の午前中は、JR千葉駅前の献血会場にて、同球団マスコットとM☆Splash!!の皆さんにより、ティッシュ配布や献血呼び掛けが行われ、午後のイベントでは、マークンファミリーのダンスステージに始まり、主催者挨拶(千葉県健康福祉部薬務課長)、千葉県の献血状況報告(血液センター所長)のあと、千葉ロッテマリーンズの植松優友(うえまつ まさと)投手と阿部和成(あべ かずなり)投手によるトークショーや握手会などが行われ大いに盛り上がりしました。



bayfm-レポーター
石咲 みゆき さん

千葉ロッテマリーンズ
阿部 和成 投手

千葉ロッテマリーンズ
植松 優友 投手

マークン
ファミリー勢揃いの
オープニング



イベントの最後には、両投手が会場の皆さんへ向けて「ロッテマリーンズへの応援と、献血へのご協力をお願いします。」と呼び掛けました。

なお、当日は最寄りの献血会場(モノレールちば駅献血ルーム・JR千葉駅前クリスタルドーム前「献血バス」)にて、献血にご協力いただいた方、各会場先着100名様に植松投手または阿部投手のサイン色紙がプレゼントされ、223人の方にご協力をいただきました。

千葉ロッテマリーンズ及びご来場いただいた皆さん、これからも献血活動へのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

Report No.65

若年者献血セミナー

「献血出前講座」が
開催されました。

このセミナーは、安定的な輸血用血液の確保を目的として、若年層の方々に対し血液や献血についてよりご理解いただけるように、各都道府県の血液センターで開催しているもので、平成22年度千葉県では、教育庁のご協力のもと高等学校(3校)で開催されました。

この出前講座は、各校会場となった体育館などに設置された大型スクリーンを用いて、献血の重要性を学んでいただくため、血液の役割や、患者さんに使用される輸血用血液製剤の解説、献血のしくみ等が学習できる内容となっており、参加した生徒さんからは、「16才になったら私も献血したい」「血液が足りないなんて知らなかった。」などの感想をいただきました。

セミナーに参加していただいた皆さん、ぜひ献血にご協力いただくとともに、ご家族やお友達に献血の輪を広げていただけますようお願いいたします。

ご協力
ありがとうございます



赤血球製剤の説明を聞く生徒さんたち。

セミナー実施状況(平成22年度)

- 10月20日(水)：千葉県立八街高等学校(3年生約200人)
- 11月24日(水)：千葉県立匝瑳高等学校(1年生約300人)
- 12月21日(火)：千葉県立八千代東高等学校(全学年約800人)

参加していただいた生徒さん及び関係者の皆様、
ご協力ありがとうございました。

平成23年度 千葉県の献血目標が決まりました。

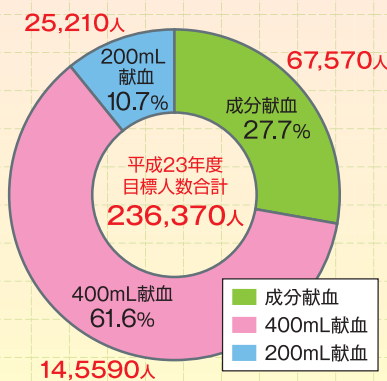
平成23年度の献血目標人数が236,370人に決まりました。この目標人数は、平成23年度県内医療機関への輸血用血液製剤の供給予測数816,600単位(200mL献血1本を1単位として換算)及び、国から割当られている血漿分画製剤用の原料血漿確保目標量43,320リットルを基本として、去る1月27日に開催された千葉県献血推進協議会において決定されました。

献血種別では、成分献血67,570人、400mL献血145,590人、200mL献血25,210人と決められ、受入施設別では、県内6ヶ所の献血ルームで128,800人、献血バス等で107,570人の献血受入を目標としています。

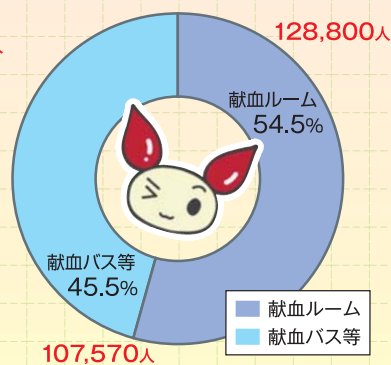
血液センターでは、県内で必要な血液を安定的に確保するため、県・市町村とともに「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」のもと、今後、患者さんにとってより安全な400mL献血・成分献血の推進に努めてまいります。

また、少子高齢化を迎え、特に若年層への献血啓発・促進を図り、輸血用の血液が年間を通じて不足することのないよう、広く県民の皆さまに献血へのご協力をお願いしてまいります。

平成23年度 千葉県の献血目標



受入施設別献血目標



検査サービス通知・採血基準・問診票 変更のお知らせ

血球計数検査の実施について

平成22年12月28日から、今まで成分献血及び400mL献血にご協力いただいた方に実施されていた血球計数検査結果が、全ての種類の献血にご協力いただいた方に、実施されることになりました。

検査サービス通知を希望された場合は、献血後のお知らせ(検査結果)として、血液型検査・生化学的検査・血球計数検査の結果が通知されます。ぜひ、みなさまの健康管理にお役立て下さい。

採血(献血)基準の変更について

平成22年3月11日に開催された「平成21年度第2回薬事・食品衛生審議会薬事分科会血液事業部会」において、採血基準の改正が承認され、平成23年4月1日から以下のとおり献血基準が変更になります。

- 400mL全血献血について男性の下限年齢を18歳から17歳に引き下げる。
- 血小板成分献血について男性の上限年齢を54歳から69歳に引き上げる。
- 200mL全血献血について——男性の血色素量の下限値を12g/dLから12.5g/dLへ引き上げる。
- 400mL全血献血について——男性の血色素量の下限値を12.5g/dLから13g/dLへ引き上げる。

※65歳から69歳までの方は、60歳から64歳までに献血の経験がある方に限られます。

※採血前血液検査(ヘモグロビン測定)の方法を「血色素量」に統一しました。

問診票(質問事項)の変更について

平成23年4月1日より、献血にご協力いただける方に、事前にご記入いただいている健康状態などに関する問診票の質問事項について、みなさまにより判りやすくご回答いただけるように、「14項目」から「23項目」に変更になります。問診は、献血にご協力いただいた方の健康を守るため、そして血液を使用している患者さんをウイルスなどの感染から守るために行っておりますのでご理解とご協力をお願いいたします。

詳しくは
日本赤十字社の
ホームページを
ご覧下さい。

日本赤十字社

検索

WWW.jrc.or.jp

県内最大規模の献血が実施されました。

平成23年1月20日(木)に、成田市「成田保健福祉館」にて、ライオンズクラブ国際協会333-C地区第6R-1Z 成田グリーンライオンズクラブ(平尾 宏昭会長 会員数37人)主催による大規模献血が行われました。同クラブでは「患者さんの命を守りたい」と平成2年から献血活動に取り組んでおり、地域住民の皆様への熱心な働きかけで、年々協力者が増加し、現在では、6台の献血バスで実施されるなど千葉県内最大規模の献血会場となっていて、現在までに8,299人の方にご協力をいただいています。

当日は、連日の厳しい寒さにもかかわらず、500人以上の方々次々と会場を訪れ、399人の方にご協力いただきました。献血を終えてお帰りになる方々に、同クラブが用意した野菜詰め合わせが感謝の言葉とともに手渡されました。

成田グリーンライオンズクラブの皆様をはじめ、献血にご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。



成田グリーンライオンズクラブのみなさん



千葉県学生献血推進協議会主催



全国学生クリスマス献血キャンペーンを実施しました。

平成22年12月12日(日)と19日(日)の2日間、らぽーとTOKYO-BAY(船橋市)を会場に、千葉県学生献血推進協議会(谷川 純一会長)主催による、学生クリスマス献血キャンペーンが実施されました。

このキャンペーンは全国の学生献血推進協議会による「全国学生クリスマス献血キャンペーン2010」の一環として行われたもので、サンタに扮した学生ボランティアが「患者さんへ命の贈り物を」と、買い物に訪れた人達に献血協力と呼びかけ、ご協力いただいた方々に、両日だけの特別な記念品(クリスマスキャンペーン特製タンブラー)をプレゼントしました。



千葉県学生
献血推進協議会の
みなさん



両日合わせて、延べ51人の学生ボランティアの熱心な呼び掛けにより、124人の方にご協力をいただきました。

学生ボランティア及び献血活動にご協力いただきました皆様、本当にありがとうございました。

千葉県学生献血推進協議会では献血ボランティアを募集しております。

患者さんの命を守るため、ぜひご参加下さい。

学生ボランティア募集についてのお問い合わせ先

千葉県赤十字血液センター 献血部 献血推進二課 渉外係
Tel.047-457-9927 E-mail:syogai@chibabc-jrc.jp

けんけつちゃんも
一緒に
呼び掛けました。

献血協力企業・団体紹介

明るい社会づくり
市川・浦安協議会

「献血活動がくれた喜びと感動」

理事兼事務局長 坂本 敏江

明るい社会づくり市川・浦安協議会は、人々の思いやりの心呼び起こし、助け合い、支え合い、平和で生きがいのある社会の実現を目指して



ひとりではできない しかし ひとりがはじめなければなにもできない
の趣旨の元、活動している会です。

献血は、まさに会の趣旨にそった活動であると言えます。日赤への協力活動として
永い事献血に携わってきましたが、平成12年からは、主催活動として取り組んでいます。
血液が最も不足する真夏の8月と、冬の12月にJR本八幡駅北口で毎回20名前後の
ボランティアの人達が笑顔で元気よく道行く人達に協力を呼びかけます。近年夏には、
大学生、高校生のボランティアが加わり、それはそれは大盛況です。

献血活動は、人々の善意を呼び起こし、人と人のふれあいを通して沢山の喜びと感動を私たちにくれます。「献血は出来ないけど、チョコレートでも食べて頑張てね」(80才のステキなおばあちゃん)「献血できた! 健康のバロメーター」(と喜ぶ主婦の方)「不安だったけど思い切って献血してよかった! 又次も!」(感動の高校生)等々、他の活動として、市川・浦安市内小学校を対象に「思いやり」ポスターコンクールの実施、本年は第29回目となります。花火大会翌日の江戸川河川敷清掃など、毎年7事業を推進し、思いやりあふれた明るい社会作りを目指したいと思います。

けんけつ 日誌より

このコーナーでは、血液センター職員から
献血にまつわる出来事やエピソードを
紹介いたします。

先日、血液センターで針供養が行われました。本来、針供養とは縫い針を休ませ供養し、裁縫技術の向上を願う行事です。私たち職員も針を使う仕事柄、毎日採血に使用され廃棄される針たちを供養しようと、看護師が中心となって20年以上前から毎年続けられています。職員一人ひとり、残った未使用の針を豆腐に刺し、感謝を捧げるとともに、採血技術の向上と献血にご協力いただける方の安全を願って静かに手を合わせました。

恒例の行事を終え、針たちとともに、献血にご協力いただいた方々への感謝の気持ちを忘れず、明日からの仕事に励みたいと思います。

採血課 看護師

千葉県内献血会場のご案内

献 血 ルーム					
柏 献血ルーム (そごうアネックス6F) Tel 04-7167-8050 	松戸献血ルーム Pure (松戸駅西口松戸ビル1F) Tel 047-703-1006 	献血ルーム フェイス (船橋駅南口フェイスビル7F) Tel 047-460-0521 	津田沼献血ルーム (津田沼ビル4F) Tel 047-493-0322 	モノレールちば駅献血ルーム (モノレール千葉駅構内) Tel 043-224-0332 	運転免許センター献血ルーム (千葉運転免許センター内) Tel 043-276-3641

献血ルーム 受付時間
●成分受付 ▶ 10:00~12:00/14:00~17:00
●400mL(200mL)受付 ▶ 10:00~13:00/14:00~17:30
●定休日 ▶ 年始年末

運転免許センター 献血ルーム 受付時間
●成分受付(平日のみ) ▶ 9:00~12:00/14:00~15:30
●400mL(200mL)受付 ▶ 9:00~13:00/14:00~16:30(日曜日は16時10分迄です。)
●定休日 ▶ 土曜日・祝日・年始年末



献 血 バ ス

血液センターでは、献血バスで県内各地を移動し、皆さまに献血をお願いしています。
献血バスの予定は、当センターホームページをご覧ください。

●ホームページアドレス

<http://www.chiba.bc.jrc.or.jp>

※実施会場・時間などについては、変更になる場合がございますので、ご了承ください。



(モバイル版QRコード)

◆献血にご協力いただける事業所・団体・グループを募集しています。献血にご協力いただける方を30~40名以上集めていただければ、ご依頼の場所へ献血バスでお伺いします。

◆お問い合わせ先
千葉県赤十字血液センター
Tel 047-457-0711 (代表)



★ドナー通信へのご意見や、献血・血液に関する質問をお待ちしています。

お問い合わせ先

〒274-0053 船橋市豊富町690 千葉県赤十字血液センター ドナー通信係
Tel 047-457-0711 (代表)